



▲手づくり看板がお目見えしました

☎ 地籍調査課総合窓口室  
0858・58・6111

**ふるさとフォーラムなかやま  
上屋付多目的広場  
愛称は「スクエアなかやま」!**

ふるさとフォーラムなかやまふれあい倶楽部の指定管理者「楽しもなかやま」が愛称を「スクエアなかやま」と名づけました。

スクエアは、広場という意味があり、中山地区にある広場を皆さんで楽しく使ってほしいという願いが込められています。

この愛称が浸透し、利用される皆さんにより一層親しみを深めてもらい、地域全体がにぎやかになることを期待しています。



▲地域の魅力再発見!

1月20日、鳥取県経済同友会西部地区（松村順史代表幹事）から、町内の小学6年生の学習に役立ててほしいと、ふるさと教育読本『弓浜半島物語』を寄贈いただきました。

『出雲国風土記』の国引き神話では、大山と縁の深い弓浜半島。この冊子には、弓浜半島の地質の成り立ちや歴史的な過程、製鉄といった人々の営みなどが満載です。

鳥取県西部地域に住む子どもたちにも「この地域をもっと好きになってほしい」、「この地域がもっと魅力的なことを分かってほしい」、「地元のことや魅力を語るようになってほしい」という熱い思いが込められています。

**ふるさと教育に活用を  
寄贈ありがとうございます!**

大神山神社奥宮正面階段北側の高石垣の工事は、令和元年度から2カ年をかけて行われ、現在は完了しています。



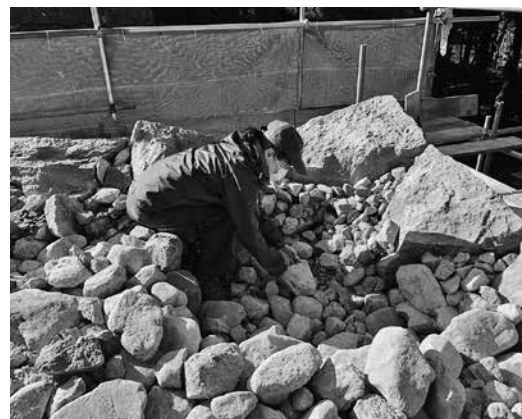
▲奥宮でのご祈祷

10月1日から11月3日まで実施した栗石への墨書き体験に計75名の参加がありました。

墨書きいただいた栗石は、11月17日に大神山神社奥宮でのご祈祷しました。祈祷後は石垣修理に使用され、石垣の裏に込められました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、当日は代表者1名のみでの参加となつてしまいましたが、栗石1つ1つは丁寧にご祈祷していただきました。

**大神山神社奥宮で栗石への墨書き体験を実施しました  
未来に託す栗石と願い**



▲栗石奉納

現地では皆様の祈りが込められた栗石をご覧いただくことはできませんが、上から2段目の角石の後ろで石垣を支えています。

今の時期は積雪が残り、なかなか足を運ぶのが難しいですが、雪が解けたのちには直った石垣をご覧いただくとともに、自らの祈りのこもった栗石の存在を感じていただければと思います。

☎ 観光課文化財室  
0859・53・3136